

日 時 令和4年12月14日(水)第2・6校時
授業場 音楽室

生徒 8年生
授業者 齊藤 貴文

1. 題材名

『Symphonie No.5』 「B 鑑賞」(1)ア(ア), イ(ア)
〔共通事項〕(1)ア 音色, リズム, 旋律, 形式, 構成 イ 調, 動機

2. 題材観・子供観・指導観

本題材は学習指導要領の「B 鑑賞」(1)ア(ア), イ(ア)の資質・能力を育成する育てることを主眼としたものである。楽曲「交響曲第5番ハ短調〈運命〉」はドイツの作曲家 L.van.ベートーヴェン(L.van.Beethoven:1770-1827)によって作られた交響曲のひとつである。この楽曲は世界中の多くの人から愛されており、その理由の一つが優れた楽曲構成にある。そのことについては諸井も、「主題展開の技法, 全曲の緊密な構成など, 作曲学的な見地からみて, もっとも完璧な作品⁽¹⁾」ということからわかり, このことから, これまでに教科書教材としても長きに渡って掲載され, 本楽曲の学習的価値は非常に高いと言える。

第8学年の生徒は, 本楽曲については聴いたことがあるものの, この楽曲について十分理解している, 最後まで聴いたことがある生徒は決して多くない。多くの生徒が第1楽章の一部の印象や鑑賞のみでこの楽曲を理解したつもりとなっている。このことは本当の意味でこの楽曲を理解し, 価値を十分に捉えていることにはならず, 改めて今回の学習を通して, 作曲者が意図した本楽曲の意味や芸術的価値, 世界的に見ても傑作となっている本作品を学ぶ意味や価値は十分にあると考える。

そこで, 本題材では「交響曲第5番ハ短調」の全楽章を通じたこの楽曲のよさや価値に近接することを学習の中心とした。「運命の動機」と言われる冒頭の動機から生じる荒々しい第1楽章。弦楽器による優しく美しい主題から始まる第2楽章。チェロやコントラバスによる不安定な旋律からホルンの力強いファンファーレが印象に残る第3楽章。そして, 第3楽章から一気に歓喜のメロディーへとつながる第4楽章。これらはそれぞれが固有の特徴とよさがあるが, あくまでも各楽章は交響曲第5番ハ短調を構成する一部であり, それぞれの楽章を捉えることは, 交響曲第5番ハ短調の全体像を捉えるためにほかならないはずである。また, 交響曲第5番ハ短調を各楽章からその特徴を協働的に捉えることで, 作曲者が壮大な交響曲という音楽に込めた意図や思いに触れるとともに, 音楽が緻密に計算されたアート(Art:芸術・美術など間接的に社会に影響を与え得るもの)であることを実感させ, これまでと異なる音楽鑑賞の世界に触れることを期待し, 本題材として設定した。

(1) 諸井三郎,『ベートーベン 交響曲第5番〈運命〉』,株式会社全音楽譜出版社,1955.P.5

3. 題材の目標

- (1) 動機をもととして様々に変化・発展していく「交響曲第5番ハ短調」のそれぞれの楽章の曲想と音楽の構造との関わりやそれをベースとした楽曲全体の構成について理解する。
- (2) 「交響曲第5番ハ短調」の楽章それぞれの音色, リズム, 旋律, 形式, 構成を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, 動機をもととして様々に変化・発展していく楽曲全体の特徴を捉え, 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。
- (3) 「交響曲第5番ハ短調」の構成をもとにして, 最高傑作と言われた楽曲のよさを深掘りする学習に関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。

4. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①動機をもととして様々に変化・発展していく「交響曲第5番ハ短調」のそれぞれの楽章の曲想と音楽の構造との関わりやそれをベースとした楽曲全体の構成について理解している。	①「交響曲第5番ハ短調」の楽章それぞれの音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、動機をもとにして様々に変化・発展していく楽曲全体の特徴を捉え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	①「交響曲第5番ハ短調」の構成をもとにして、最高傑作と言われた楽曲のよさを深掘りする学習に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4. 題材のデザイン (全3時間)

主張する手立て

時	○学習活動 ・ 学習内容	手立て	知・思・態		
			知・扱	思	態
			〈 〉 内は評価方法		
1 (本時)	○楽曲の一部を鑑賞し、課題を把握する ・ 交響曲第5番ハ短調について ・ 各楽章について ○楽曲を聴いてそれぞれの特徴を見いだす ・ 第1・2・3・4楽章について ○それぞれの楽章をもとに、この楽曲の全体像を捉えていく ○本時の活動を振り返り、自分が考えたことや気づいたことについて発表する	① 探索の対象と制約を意識し、問いの深さを決める変数について吟味した深い課題の設定 ② 本質的な気づきに迫るための発問・問い返しの工夫	知 (観察 〈ロイロノート〉)	思 (観察 〈ロイロノート〉)	態 (観察 〈ロイロノート〉)
2	○前時の振り返りを行う。 ○提示部の特徴を探る ○展開部の特徴を探る ○再現部の特徴を探る ○ソナタ形式を理解する ○学習活動を振り返る		↓	↓	↓
3	○調べてきたことを交流する ○班で話し合い、楽曲についてまとめる ○まとめたことを交流する ○題材全体を振り返り、楽曲のよさについてまとめる		①	①	①

5. 本時の目標 (1/3)

交響曲第5番ハ短調を鑑賞し、楽曲の全体構成を捉え、各楽章の特徴について協働的に考え、自分の考えをまとめることができる。

6. 本時のデザイン

主張する手立て

教師の働きかけ (●発問, ▲補助発問, ■指示・説明) ○子供の学習活動	◆留意点 ※評価				
<p>1. 楽曲の一部を鑑賞し、課題を把握する</p> <p>●この曲は誰の何という曲でしょう。 <input type="text" value="○Beethoven"/> <input type="text" value="○運命"/></p> <p>●みんなが知ってるこの曲のイメージに近いのは次のうちどれ? ・絶望・悲しみ・希望・喜び</p> <p>●次の曲は何という曲でしょう。 <input type="text" value="○知らない…"/> <input type="text" value="○初めて聴いた"/></p> <p>■楽曲についての説明をする。</p> <p>・作曲時期や作曲背景 ・楽曲について、特に「最高傑作」の一つであること など</p> <p>●最高傑作・最も完璧な作品と言われた「運命」は本当はどんな曲でしょう。</p>	<p>※評価の観点 本時は1時間目のため記録する評価とはならないが、観察評価として積み上げる。</p>				
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">本当の「運命」の姿を明らかにし、説明しよう！</p> <p>■学習課題や今後の学習計画について説明します。 ・3時間構成であること ・班で活動すること ・アウトプットの期日など</p>	<p>◆多様な制約を取り入れた題材全体の課題</p>				
<p>2. 楽曲を聴いてそれぞれの特徴を見出す。</p> <p>●第1 (2・3・4) 楽章にはどんな特徴があり、どんな感じがありますか。楽曲の一部を鑑賞してみましょう。</p> <p>▲どんなストーリーを感じますか。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p>【第1楽章】</p> <p>○短調 ○勢いがある ○ジャジャジャヤーン ○速い</p> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p>【第2楽章】</p> <p>○速度はゆっくり ○優しい感じ ○弦楽器が中心 ○長調かな</p> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p>【第3楽章】</p> <p>○短調 ○暗い感じ ○力強い ○決意がある ○強弱の変化が大 ○速い</p> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p>【第4楽章】</p> <p>○長調 ○明るい ○喜び ○速い</p> </td> </tr> </table>	<p>【第1楽章】</p> <p>○短調 ○勢いがある ○ジャジャジャヤーン ○速い</p>	<p>【第2楽章】</p> <p>○速度はゆっくり ○優しい感じ ○弦楽器が中心 ○長調かな</p>	<p>【第3楽章】</p> <p>○短調 ○暗い感じ ○力強い ○決意がある ○強弱の変化が大 ○速い</p>	<p>【第4楽章】</p> <p>○長調 ○明るい ○喜び ○速い</p>	<p>◆それぞれ楽曲の特徴を残して抜粋した3分程度の楽曲を鑑賞する</p> <p>※【観察】【カード】 ・それぞれの楽章の曲想と音楽の構造との関わりやそれをベースとした楽曲全体の構成について理解している。</p>
<p>【第1楽章】</p> <p>○短調 ○勢いがある ○ジャジャジャヤーン ○速い</p>	<p>【第2楽章】</p> <p>○速度はゆっくり ○優しい感じ ○弦楽器が中心 ○長調かな</p>	<p>【第3楽章】</p> <p>○短調 ○暗い感じ ○力強い ○決意がある ○強弱の変化が大 ○速い</p>	<p>【第4楽章】</p> <p>○長調 ○明るい ○喜び ○速い</p>		
<p>3. それぞれの楽章をもとに、この楽曲の全体像を捉えていく。</p> <p>●第1楽章から第4楽章までを見ると、作曲者が表現したい音楽は、大まかにどんな楽曲・ストーリーだと言えそうですか。</p> <p>○全曲通して見ると、暗-明-暗-明になっている ○最初は絶望からはじまり、困難に立ち向かおうとしている感じとか、最後は受け入れて喜びを感じている感じがわかる</p>	<p>・楽章それぞれの音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている 知</p>				
<p>4. 本時の活動を振り返り、自分が考えたことや気づいたことについて発表することができる。</p> <p>●楽曲全体を鑑賞してどんなことに気づいたり考えたりしましたか。</p> <p>・最初は、絶望していた曲だと思ったけど、最後まで聴くと、どちらかという希望を感じた ・作曲者はこの曲を通して、いろいろな感情や思いを伝えようとしているのかもしれないと思った…</p>	<p>・楽曲のよさを深掘りする学習に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている 思</p>				